



改革の旗手 日本再建のリーダーへ

茂木敏充国会通信

2009年 初夏号

■ホームページ: <http://www.motegi.gr.jp>
 ■E-mail: toshimitsu@motegi.gr.jp

■発行所: 自由民主党栃木県第5選挙区支部
 〒326-0053 栃木県足利市伊勢町4丁目14-6 TEL0284-43-3050 FAX0284-43-3060



動き出す追加経済対策

衆議院議員 茂木 敏 充

初夏を感じさせる気候となつてまいりましたが、地元の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

1月5日に開会した通常国会も後半を迎え、国会では現在、3月末に成立した平成21年度予算(88.5兆円)に続き、補正予算の審議が進んでいます。100年に1度と言われる今回の世界的経済危機を乗り越えるための対策で、その規模も15.4兆円という過去最大の追加経済対策・補正予算です。

戦略プログラムの目指すもの

マスコミでも大きく取り上げて頂いているように、今回の経済対策のベースとなったのが、自民党「日本経済再生戦略会議」の戦略プログラム(P2、3の図表)で、私も戦略会議の幹事長として取りまとめにあたってきました。

今回の対策は短期の景気対策に止まらない中期的な戦略プログラム(3年間)で、まず今後日本が目指す3つの将来像(1)環境問題に対応した「グリーン経済社会システム」の構築(2)地域の潜在力を高める「21世紀型インフラとシステム」の整備(3)健康長寿と子育てを支える「質の高い生活コミュニティ」の形成を明示しています。対策の規模は40兆円(うち本年度補正予算で15.4兆円)、3年間で200万人の雇用創出を目指します。

雇用対策と中小企業対策

緊急対策としては雇用対策、中小企業をはじめとする資金繰り対策、予算の前倒し執行の3つが柱になります。

(P2へつづく)

(前ページより)

緊急の雇用対策、なかでも「雇用調整助成金」は今年2月だけで187万人の雇用を下支えするなど相当な効果を上げています。今回はこれを6000億円拡充し、ワークシェアリングなど雇用維持に努める企業への休業手当での助成などを行ないます。

また、中小企業の資金繰り対策(予算3兆円、事業規模42兆円)では、昨年10月からの緊急保証の承諾実績が9.4兆円、約45万件に上っており、今回はこの保証枠を20兆円から30兆円に拡大、セーフティネット貸付の融資枠も10兆円から15.4兆円に拡げることとしました。同じく30兆円の保証枠を設けた10年前の特別保証は7800社の倒産を回避し、7万7000人の雇用維持効果がありました。バージョンアップした今回の金融対策ではこれ以上の効果が期待されます。

新3種の神器の普及促進

高度経済成長期には3種の神器(テレビ、冷蔵庫、洗濯機)、3C(カー、クーラー、カラーTV)などと言われていましたが、低炭素革命が進む現在は、太陽光パネル、エコカー、省エネ家電がまさに「新3種の神器」になってきています。今回の対策では、これらの大幅な普及促進を図っていきます。

まず太陽光発電では、全国3.2万校の公立小中学校への太陽光パネルの設置をはじめとしたエコ改修を進めます。同時に学校の耐震化、デジタルテレビ、パソコン・校内LAN等のIT環境の整備を3年間で集中的に行う「スクール・ニューディール」構想を実施に移します。

また、省エネカーの分野では、ハイブリッドカー等の環境対応車を新車で購入した場合、今年4月から導入した減税(平均10万円の減税)に加え、1台10万円を助成します。そして、13年を超えて使用している古い自動車をスクラップし、一定の燃費基準を満たす新車に買い替えた場合、1台25万円を助成します。

グリーン家電(省エネ型エアコン、冷蔵庫、テレビ)についても、購入価格の5%相当分のエコポイント(他の製品を購入できるポイント)を付与し、地デジ対応テレビについてはさらに5%上乗せします。つまり10万円のエアコンなら5000円、地デジ対応TVなら1万円分の買い物ポイントがつくことになるわけです。

医療・介護・地方の支援

農業の分野でも水田フル活用や耕作放棄地の解消に向け、1兆円という大規模な対策を打ちます。また、高速道路の早期開通に向け、工事を大幅に前倒ししていきます。

一方、健康長寿の分野では地域医療の再生に

日本経済再生への戦略プログラム

—今、未来への投資、新たな成長ステージへ—

新たな対策規模 40兆円(うち本年度補正予算額15.4兆円)、3年間で200万人の雇用

1. 目的

- 短期の景気対策に止まらない **中期的な戦略プログラム。**
- **新しい日本の姿を明示し、今後3年間に集中的な投資。**

2. 3つの将来像と達成目標

- (1) **低炭素革命**が進む中で、「世界をリードし幅広い裾野を持つ新産業群」(「**新3種の神器**」:太陽光発電、環境対応車、省エネ家電)を形成。「**グリーン経済社会システム**」に移行。
- (2) 人・モノ・金・技術・文化など、あらゆる分野のポテンシャルを高める「**21世紀型のインフラやシステム**」が加速的に整備。誰もが成長のチャンスを実現可能な社会を形成。
- (3) **健康長寿と子育て**を支える「**質の高い生活コミュニティ**」が医療・介護・子育て・教育分野の改革やサービス強化とともに形成。

3. 緊急対策

- ① **緊急雇用対策**(本年度補正予算額 1.9兆円)
 - ・雇用を維持する企業への雇用調整助成金(6000億円拡充)、離職者の再就職支援・能力開発対策等
- ② **緊急中小企業・金融対策**(補正 3.0兆円、事業規模 41.8兆円)
 - ・中小企業の資金繰り支援:信用保証枠の拡充(20兆円→30兆円)、セーフティネット貸付の融資枠拡充(10兆円→15.4兆円)等
 - ・大企業・中堅企業対策:政投銀の長期資金貸付枠拡大、商工中金の融資枠拡充等
 - ・住宅土地金融の円滑化:住宅金融支援機構の業務拡充(頭金なしの住宅ローン10割融資など)
- ③ **平成21年度当初予算の過去最大級の前倒し執行(80%を目標)**

4. 主要10施策(戦略プログラムを牽引する政策の柱)

- (1) **世界をリードするグリーン経済社会システムの構築**(補正 1.5兆円)

① 太陽光発電 ・全国3万校以上の小中学校への太陽光パネル設置、耐震化、デジタルテレビ、パソコン等の配備	② 環境対応車・グリーン家電の普及 ・環境対応車買換え支援(1台当たり10万円/25万円補助) ・省エネ家電の普及促進(エアコン、冷蔵庫、テレビ)に5%/10%のエコポイント	③ 公共交通機関・インフラの革新 ・鉄道・船舶・自動車等の新たなシステムの実用化(リニア・LRTなど) ・トラックから鉄道・海上輸送へのシフト
---	---	---
- (2) **21世紀型のインフラ整備・システム開発**(補正 2.3兆円)

④ 最先端の技術開発とその事業化 ・最先端の科学技術立国への基盤整備 ・次世代産業を支える中小企業への支援	⑤ 食料自給率の向上・自然環境の保全 ・水田フル活用、耕作放棄地解消等 ・再植林・花粉症対策	⑥ 「国土ミッシングリンク」(未結节点)の結合促進 ・高速道路の早期開通 ・ハブ機能を担う空港・港湾の整備	⑦ デジタル・ディバイドを全面解消 ・地上波TVのデジタル化 ・ブロードバンド・ゼロ地域、携帯電話の不感地帯解消
---	--	---	--
- (3) **健康長寿と子育てを支える質の高い生活コミュニティの形成**(補正 2.0兆円)

⑧ 地域医療の再生と最先端医療技術の革新 ・「2次医療圏」(人口30万人エリア)単位での医師確保や病院の施設整備	⑨ 介護拠点整備と介護分野の雇用創出 ・入所待機者解消に向けての介護拠点整備(16万人分) ・介護人材30万人の確保	⑩ 安心子ども・子育て対策 ・安心子ども基金拡充や地方負担軽減による保育サービスの充実 ・奨学金拡充、教育費の負担軽減
---	--	---

5. 戦略プログラムを加速する制度改革

- (1) **地方負担の軽減**(補正2.4兆円)
 - ・「地域活性化・公共投資臨時交付金」(1.4兆円)
 - ・「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」(1.0兆円)
- (2) **基金方式の創設・拡充**(2.6兆円)
 - ・「地域医療再生基金」「世界最先端の研究資金」など、基金方式の活用による複数年度事業の実施
- (3) **税制**(0.1兆円)
 - ・住宅取得のための贈与税の軽減、中小企業の交際費課税の軽減、研究開発税制の拡充

向け「2次医療圏(人口約30万人のエリア)」単位で医師不足の解消や病院の施設整備などを進めます。また、介護分野でも入所待機者解消に向けて介護拠点整備を加速(16万人分)するとともに、現場での処遇改善とあわせて3年間で30万人の介護人材の確保を目指します。

さらに今回の経済対策を国と地方自治体が一体となって進める上で、地方の負担を出来るだけ軽減するように地方への臨時交付金(2.4兆円)を創設、特に財政状況の厳しい地方に重点的に配分していきます。この臨時交付金はすでに各地方から大変な反響を頂いており、地方での事業推進を大きく後押しすると思います。

日本の自信回復と政治の信頼回復

今回の戦略プログラム・経済対策の着実な実施で、一日も早い景気の回復を図り、さらに「日本の自信回復」と「政治の信頼回復」につなげていきたいと思っています。地元の皆様よりの一層のご支援よろしくお願い申し上げます。

これから梅雨の季節へと向かってまいります。皆様にはくれぐれもご健勝にてお過ごし頂きますようお願いし、ご挨拶と致します。

最近の講演・TV・ラジオ収録

地元

08年8月11日 足利わたらせCATV 収録
9月14日 足利青年会議所 桑山理事長との対談
11月4日 獨協医科大学病院 講演
09年2月7日 ラジオ栃木放送「開倫塾の時間」収録
2月27日 足利ロータリークラブ例会 講演

東京

08年7月28日 インターネットTV「デイリータイムズ」収録
8月3日 フジテレビ「報道2001」出演
8月3日 テレビ朝日「サンデープロジェクト」出演
8月10日 NHK「日曜討論」出演
8月11日 テレビ朝日「スーパーモーニング」収録
8月17日 フジテレビ「報道2001」出演
8月18日 テレビ東京「ワールド・ビジネス・サテライト」出演
8月18日 日本経済新聞 コラム「核心」取材
8月25日 日本外国特派員協会 講演
9月1日 経済同友会正副代表幹事会 講演
9月21日 テレビ朝日「サンデープロジェクト」出演
9月29日 日本BS「INsideOUT」出演
12月2日 テレビ朝日「スーパーモーニング」収録
12月19日 インターネットTV「超人大陸」収録
09年1月23日 毎日新聞「クロストーク」勝間和代さんとの対談
1月30日 テレビ朝日「朝まで生テレビ」出演
3月7日 TBS「報道特集NEXT」収録放送
4月12日 テレビ朝日「サンデープロジェクト」出演



2/27 足利ロータリークラブ例会にて講演



テレビ朝日「サンデープロジェクト」出演



1/30 テレビ朝日「朝まで生テレビ」出演

昨年 今年 後半 前半 国政報告会・懇談会

●足利

- 08年7月 5日 借宿町後援会国政報告会兼懇親会
 8月 9日 田中町後援会国政報告会
 9月 9日 足利市後援会拡大役員会
 9月27日 柳北地区本城1丁目支部懇談会
 9月27日 三重地区今福南町懇談会
 9月27日 三重地区五十部内中町支部懇談会
 11月30日 堀込町後援会懇談会
 12月13日 川崎町後援会懇談会
 09年3月14日 足利市後援会連合会幹部会議



▲08/12/13 足利川崎町懇談会



▲08/10/13 足利地蔵様宅にてミニ懇談会

- 08年9月28日 第3回茂木敏充杯三和地区グランドゴルフ大会
 9月28日 茂木としみつmomiの会創立記念バーベキュー大会
 10月12日 大樹の会足利主催親睦ゴルフコンペ
 12月12日 足利市後援会連合会青年部忘年会
 09年2月27日 茂木としみつmomiの会新年会
 3月22日 第4回茂木としみつクイーンズカップバレーボール大会



08/9/28 足利momiの会バーベキュー大会

●栃木

- 08年7月27日 吹上地区宮町支部懇談会
 9月27日 第4地区城内二丁目支部懇談会
 9月27日 第5地区箱森東部支部懇談会
 10月 5日 栃木市後援会連合会拡大役員会
 10月27日 第1地区懇談会
 11月28日 大宮西部地区国政報告会
 12月 7日 大宮中部地区国政報告会
 09年2月 7日 栃木市後援会連合会幹部新年会
 3月21日 吹上地区川原田北支部設立総会



▲08/7/27 栃木星野美里会ミニ懇談会



▲09/3/21 栃木川原田北支部設立総会兼懇談会



▲09/3/1 佐野第3回クイーンズカップバレーボール大会

●佐野

- 08年7月12日 吾妻地区国政報告会
 10月 4日 佐野地区後援会拡大役員会
 10月 5日 葛生地区後援会拡大役員会
 10月18日 田沼地区後援会拡大役員会
 11月24日 氷室地区国政報告会
 12月 6日 新合・飛駒地区合同国政報告会
 12月21日 赤見地区国政報告会
 09年2月21日 佐野天明地区岡部市長との合同国政・市政報告会
 2月22日 旗川地区岡部市長との合同国政・市政報告会
 3月 1日 植野地区岡部市長との合同国政・市政報告会
 3月 1日 界地区岡部市長との合同国政・市政報告会
 3月 8日 城北地区岡部市長との合同国政・市政報告会
 3月 8日 犬伏地区岡部市長との合同国政・市政報告会

- 08年12月22日 としみつ会10周年記念忘年会
 09年3月 1日 第3回茂木としみつクイーンズカップバレーボール大会

上記以外にも足利、佐野、栃木3市の各地区後援会（60地区）で、役員会・懇談会を開催させて頂きました。ご協力、ご参加頂いた皆様には、本当にありがとうございました。

茂木敏充プロフィール



- ・1955年10月7日 栃木県足利市生まれ（53歳）
足利高校、東京大学卒業、ハーバード大学大学院修了
- ・1993年 7月 第40回衆議院選挙に初立候補しトップ当選
- ・1999年10月 通商産業政務次官
- ・2002年10月 外務副大臣
- ・2003年 9月 国務大臣（沖縄・北方、科学技術、IT担当）
- ・2005年 4月 早稲田大学客員教授
- ・2005年 9月 第44回衆議院選挙で5期目の連続当選
- ・2006年 9月 自民党筆頭副幹事長
- ・2007年 9月 衆議院厚生労働委員長
- ・2008年 8月 国務大臣（金融、行政改革担当）

●茂木敏充（第5選挙区）事務所●

- 国会事務所
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館639号室
TEL 03(3508) 7639(直通)
- 足利事務所
〒326-0053 足利市伊勢町4丁目14-6
TEL 0284(43) 3050
- 安佐事務所
〒327-0843 佐野市堀米町608-8
オフィス堀米2階F室
TEL 0283(21) 5350
- 栃木事務所
〒328-0071 栃木市大町22-7 MTビル1階
TEL 0282(24) 4776